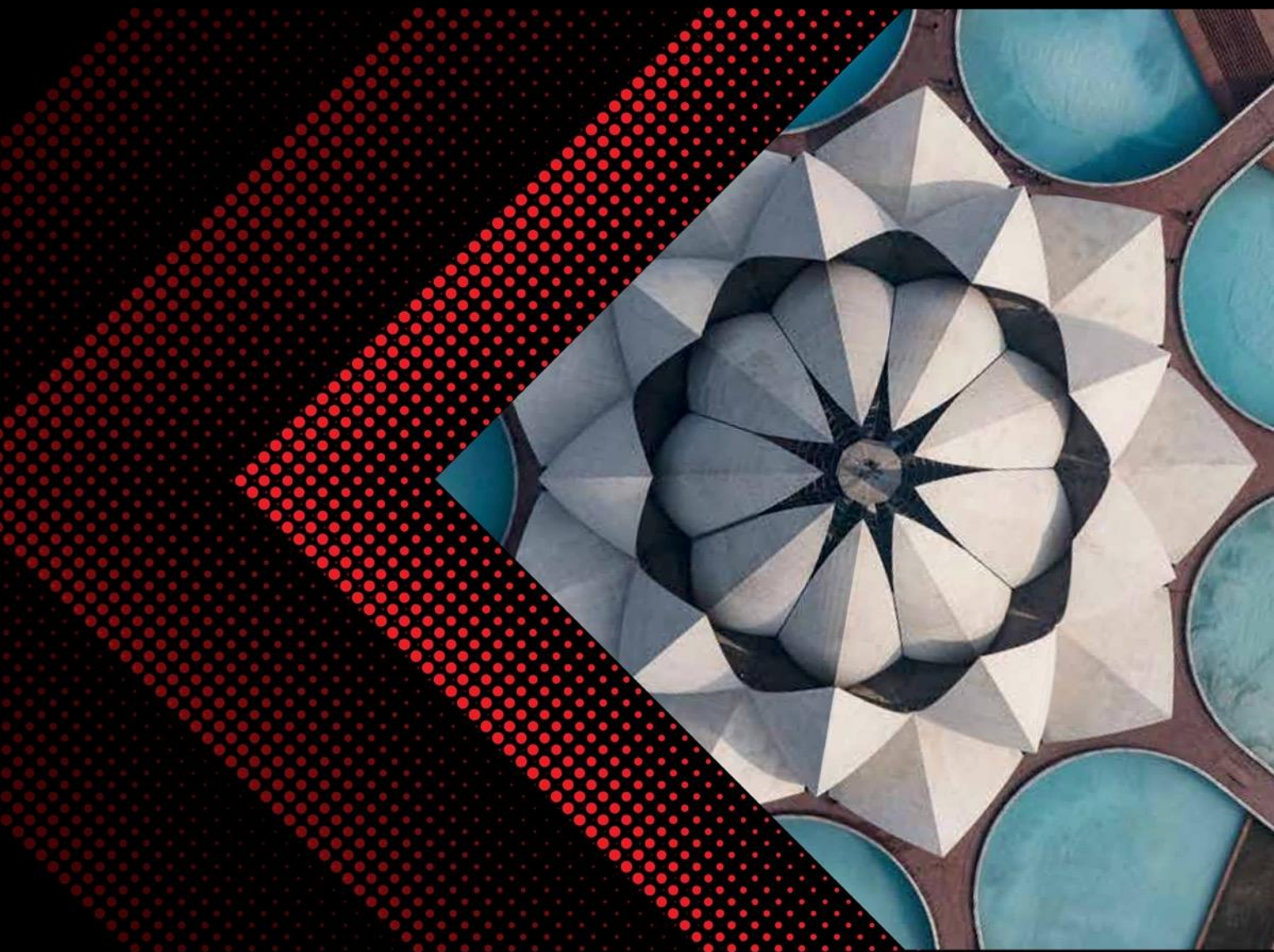


「インド債券」について

HSBCアセットマネジメント株式会社

2025年10月



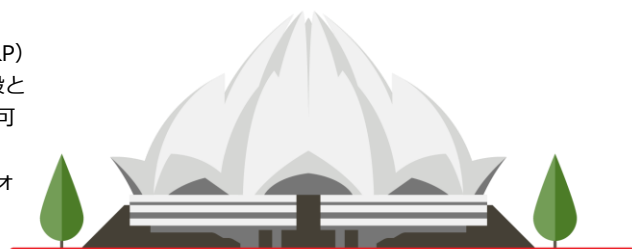
HSBC Asset Management

なぜ、今「インド債券」なのか？

その1 投資機会について

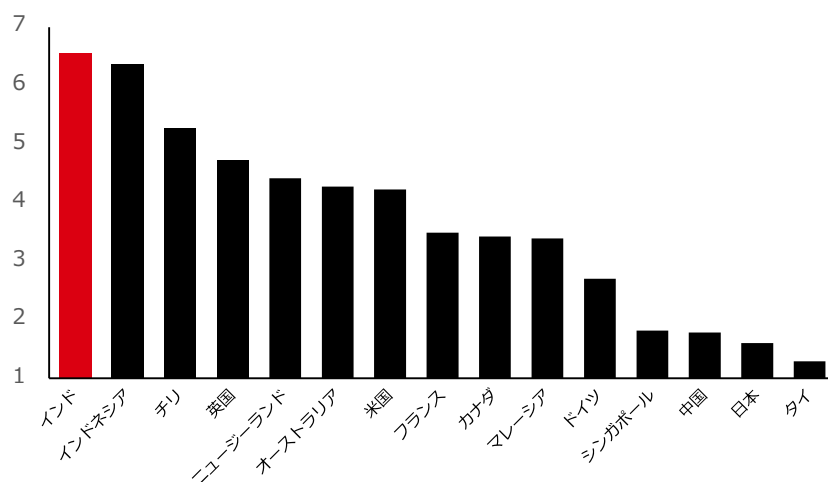
相対的に魅力的な利回りを有する投資適格債券

- ◆ インドのソブリン格付けは最近、S&Pグローバル・レーティング（以下S&P）によってBBB-からBBBに引き上げられました。投資適格債券の中でも一段と高い信用力に移行することで、インドはグローバルから幅広く資金調達が可能となり、リスクプレミアムが縮小すると考えられます。
- ◆ インド国債は既に高い利回りを提供しており、グローバルな債券ポートフォリオにおいて利回りの向上に寄与するものと見ています。



インド国債は新興国・先進国市場において高い利回りを有する

10年物国債利回り (%)



出所：ブルームバーグ、HSBCアセットマネジメント、2025年8月29日

主要格付機関によるインドのソブリン格付け

S&P

格付け	BBB
アクション	格上げ
実施	2025年8月



フィッチ・レーティングス

格付け	BBB-
アクション	格上げ
実施	2006年8月



ムーディーズ

格付け	Baa3
アクション	格下げ
実施	2020年6月



出所：S&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズ、ブルームバーグ、2025年8月

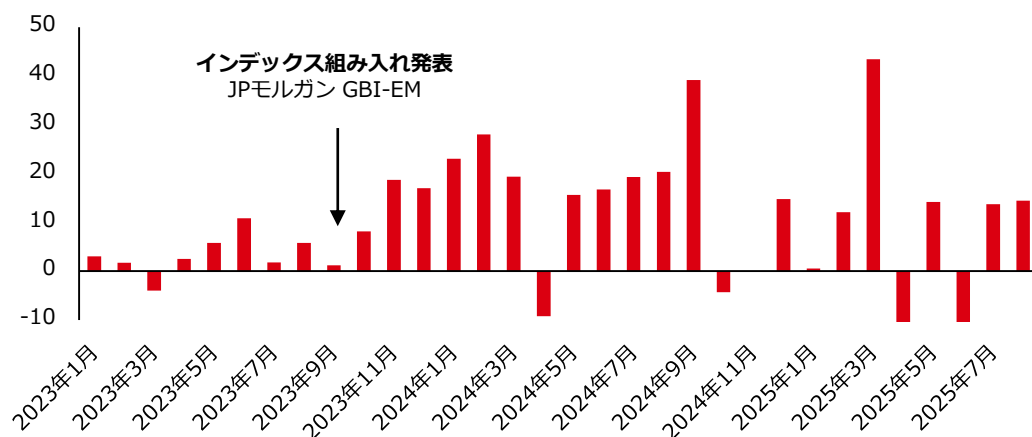
* 過去の実績は将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。
当資料に記載された見解は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。予測、見通し、目標は情報提供を目的としており、その実現を保証するものではありません。

海外からの力強い資金流入

- ◆ JPモルガンGBI-EMへのインド国債組み入れ期間が終了したにもかかわらず、インド債券市場には引き続き海外からの力強い資金流入が見られます。JPモルガンと比較すると規模は小さいですが、インド国債は2025年9月からFTSE新興国市場国債インデックス (EMGBI) に段階的に組み入れられます。
- ◆ 時間が経過するにつれ、グローバル投資家からの資金流入増加は、需要の改善、市場の発展、リスクプレミアムの縮小につながるものと思われます。

2023年9月以降、インド債券への海外からの資金流入（ネットベース）は約270億米ドル

億米ドル



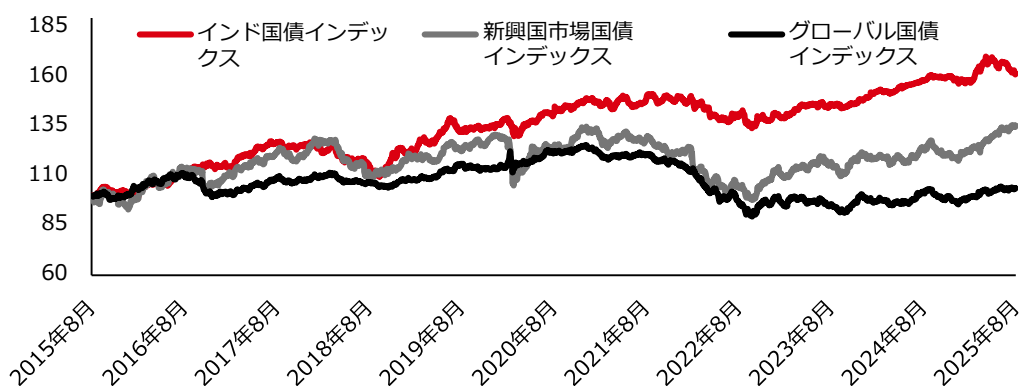
出所：NSDL、ブルームバーグ、HSBCアセットマネジメント、2025年8月

分散投資のメリット

- ◆ インド債券をグローバルな債券ポートフォリオに追加することで、分散投資のメリットを提供し、リターンを向上させる可能性があります。過去10年間に於いて、インド国債のリターンはグローバルおよび新興国市場を大幅に上回りました。
- ◆ また、過去10年間のインド債券とグローバル債券の相関係数は0.15*と低く、世界的に不確実性が高い現在において分散投資先としてインド債券を捉えることは賢明と考えられます。*出所：NSDL、2025年8月

比較的堅調なインド債券のパフォーマンス

10年間のパフォーマンス、米ドルベース、2015年8月末=100



出所：Markit、JPモルガン、FTSE、ブルームバーグ、HSBCアセットマネジメント、2025年8月

* 過去の実績は将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。
当資料に記載された見解は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。予測、見通し、目標は情報提供を目的としており、その実現を保証するものではありません。

なぜ、今「インド債券」なのか？

その2 マクロ環境の追い風

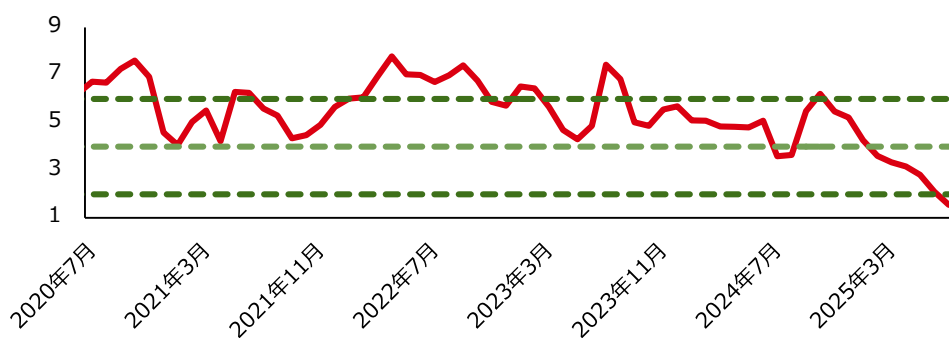


強靱な経済、インフレ鈍化

- ◆ S&Pによるインドのソブリン格付けの引き上げにより、インド経済の強靱性、力強いGDP成長、対外収支の改善、構造改革を通じた効率性、さらに経済安定性の向上などが改めて注目されています。同時にインドのインフレ圧力は、食料価格の低下とより安定したコアインフレにより緩和されています。
- ◆ これらは総じて、インド債券にとりプラスに働き、望ましい環境を形成すると思われます。最近発表されたインドの物品・サービス税（GST）改革は財政赤字を拡大させる可能性が残るものの、直接税の増収による相殺余地があるため、財政赤字の増加額は僅かにとどまると考えられます。

予想以上に低下しているインフレ率

前年同月比、%



中銀のインフレ目標
4% ±2%

出所：インド準備銀行（RBI）、ブルームバーグ、HSBCアセットマネジメント、2025年8月



* 過去の実績は将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。

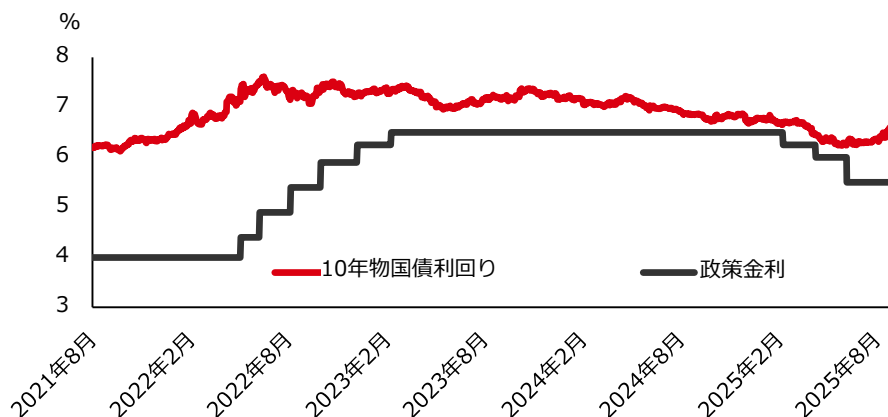
当資料に記載された見解は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。予測、見通し、目標は情報提供を目的としており、その実現を保証するものではありません。



中央銀行による行動余地

- ◆ インド準備銀行（RBI）は8月および10月の金融政策決定会合にて政策金利を据え置きましたが、過去の会合では政策金利を前倒しで大幅に引き下げました。
- ◆ 残り年内においてRBIが行動する余地はあると考えますが、あくまで米国の関税政策によるインド経済への影響度合いに依存すると見ています。

政策金利と国債利回り



出所：ブルームバーグ、RBI、HSBCアセットマネジメント、2025年8月



対外収支の改善を通じた強靱性がインドルピーを下支え

- ◆ インドの国際収支状況の構造的変化、海外からの直接投資の上昇傾向、高水準の外貨準備高に伴い、インドの外部環境に対する脆弱性は低下しています。加えて、堅固なマクロ環境を背景にインドルピーは過去と比較して安定的に推移しています。
- ◆ インドの内需主導の経済もインドルピーにとりプラスに働き、世界的に投資環境を巡り不確実性が高まる中でインドルピーの動向が注目されるものと思われます。

高水準の外貨準備高がインドルピーのボラティリティを抑制

対米ドル相場、3年間のボラティリティ（年率）

インドルピー	3.5%	低ボラティリティ ↓ 高ボラティリティ
中国人民元	4.0%	
カナダドル	5.8%	
ユーロ	7.4%	
英ポンド	8.4%	
日本円	10.6%	
ブラジルレアル	11.8%	

注：ボラティリティは過去データに基づく

出所：ブルームバーグ、HSBCアセットマネジメント、2025年8月22日

* 過去の実績は将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。
当資料に記載された見解は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。予測、見通し、目標は情報提供を目的としており、その実現を保証するものではありません。

インド債券と HSBCアセットマネジメント



アジア現地チームとグローバルチームとの強力な協働

- シンガポールと香港のポートフォリオマネージャーはインドおよびアジアの債券市場における豊富な経験を有しており、HSBCアセットマネジメントのグローバル債券チームから適宜連携およびサポートを受けています。
- 2022年にL&Tインベストメント・マネジメントを買収したことに伴い、インドの債券投資に関するリソースが一段と強化されました。
- 運用プロセスは、アジアおよびインドの債券市場における徹底したリサーチに基づいて構築されています。



クオリティに重点を置いた柔軟なスタイル

- グローバルな格付機関から格付けが付与されていない債券に関しては、当社独自の信用力評価に基づいて銘柄を厳選しています。
- オンショアおよびオフショアのインド債券市場の双方にて柔軟な配分を行っています。



厳格な銘柄選択とリスク管理

- 強力なリスク管理を実施しています。
- ポートフォリオにおけるイールドカーブやクレジット・ポジションなどを常時モニタリングしてアクティブリスクの分散化を図っています。



* 過去の実績は将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。
当資料に記載された見解は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。予測、見通し、目標は情報提供を目的としており、その実現を保証するものではありません。

留意点

【当資料に関する留意点】

- ◆ 当資料は、H S B Cアセットマネジメント株式会社（以下、当社）が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買、金融商品取引契約の締結に係わる推奨・勧誘を目的とするものではありません。
- ◆ 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- ◆ 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- ◆ 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

<個人投資家の皆さま>

投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料 上限3.85%（税込）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的に ご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年2.20%（税込）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」等でご確認ください。

- ◆ 上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。
- ◆ 費用の料率につきましては、H S B Cアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。
- ◆ 投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

H S B Cアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.co.jp



電話番号 03-3548-5690

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）